

第4回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会 議事録

日時：2011年1月22日(土) 17:00～17:30

場所：大阪アカデミア 603(6階)

出席者(順不同・敬称略)：

[本会雑誌編集委員会 編集委員] 浅野和之(日本大学) 廉澤 剛(酪農学園大学) 下田哲也(山陽動物医療センター) 難波裕之(難波動物病理検査ラボ) 山上哲史(マルピーライフテック株式会社)(合計5名)

委任者：岩上大吾(日本獣医生命科学大学)(合計1名)

議長：[本会雑誌編集委員会編集委員長] 藤田道郎(日本獣医生命科学大学)

書記：[本会雑誌編集・制作担当] 吉田由紀子(CACompany 委託)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 審議事項 敬称略

(1) 本会雑誌紙面上での、メイン査読者の公表方法について：

本会雑誌奥付ページに記載することが、承認された。

(2) 投稿促進について：

(ア)(イ)が承認された。

(ア)「認定委員会にて、本会認定医 種の更新資格として、学会雑誌への投稿を義務づけられたことが、本会雑誌編集委員長を通じて、本編集委員会にて報告された。」(第3回編集会議 議事録1.報告事項(1))をふまえ、投稿先学会雑誌として、本会雑誌を指定または優先してもらえよう、強く意向を伝えていく。

(イ)各学術部会から、毎年1本の論文投稿をしていただけるよう、各部長より促していただけるよう、意向を伝えていく。

(3) 電子ジャーナル展開にともなう、無断引用・転載の予防施策について：

(ア)(イ)が承認された。

(ア)論文投稿者へは、投稿規程および投稿承諾書にて、より明確に留意を促す。

(イ)依頼原稿ご執筆者へは、依頼書および校正やりとり時に、より明確に留意を促す。

(4) 査読期間等の厳密化について：

(ア)(イ)が承認された。

(ア)査読者側は、3ヵ月以内に査読を終了させる。3ヵ月を過ぎる場合は、メイン査読者は、編集委員長へその旨を連絡。

(イ)投稿者側は、3ヵ月以内に修正論文を提出する。3ヵ月を過ぎる場合は、新規論文として再投稿する。新たな受理番号が編集委員会から発行される。

2. 報告事項 敬称略

(1) 本会雑誌 Vol.1 No.1～4の発行について：

本会雑誌 Vol.1 No.1～4が、2010年中に発行完了したことが報告された。

(2) 投稿状況と進行状況について :

Vol. 2 No. 1 掲載決定論文は「原著」1本、現在査読中の論文は「原著」1本、「短報」1本であることが、報告された。

(3) 「技術講座」新シリーズについて :

第3回編集会議にて下田哲也編集委員から提案いただいた「技術講座」新シリーズ(協力:内科部会)が、Vol. 2 No. 2 からスタート予定であることが、報告された。

内科部会からの要請で、必要であれば、病理部会が病理学的な解説を加えることを予定。

(4) 誌面レイアウトのマイナーチェンジについて :

電子ジャーナル画面上でのノンブルをより見やすくするため、Vol. 2 から、ノンブル位置を変更されることが報告された。

【変更前】誌面の左右端にノンブルを記載

【変更後】誌面の中央にノンブルを記載。付随して、柱(誌面の上の余白部分の見出し)を変更

(5) その他

(ア)(イ)が報告された。

(ア) 投稿承諾書を、日本獣医がん学会 HP からフォーマットをダウンロードできるように準備中。

(イ) 第2回編集会議にて「査読シートはなしで、査読を進める。ただし査読者には「掲載可」「不可」「修正後採用」について明記してもらう。」(審議事項1(4))が承認されたが、将来的には査読シート(例:必要事項を word ファイルにまとめる)の作成も検討。

3、次回編集委員会 開催予定

日時: 2011年夏

場所: 未定

出席者(予定・順不同・敬称略):

藤田道郎(編集委員長)、浅野和之(編集委員)、皆上大吾(編集委員)、廉澤 剛(編集委員)、下田哲也(編集委員)、高橋朋子(編集委員)、難波裕之(編集委員)、圓尾拓也(編集委員)、山上哲史(編集委員)、吉田由紀子(CACompany 委託:編集・制作担当)

審議事項: 未定

以上。

(文責者: 藤田道郎)